



# 特別展 松浦武四郎の遍路

## —北海道人、四国を旅する—

令和6年  
10月12日(土) ▶ 11月24日(日)

【開館時間】 9:30~17:00(入館は16:30まで)  
 【入館料】 一般500円、高校・大学生300円、  
 中学生以下無料(20名以上の団体は2割引)  
 【休館日】 毎週月曜日(10月14日、11月4日は開館)、  
 10月15日(火)、11月5日(火)

- 記念講演会**
- ① 「幕末の探検家 松浦武四郎の生涯」  
 日 時：10月26日(土) 13:30~15:00  
 講 師：山本 命氏 (松浦武四郎記念館館長)
  - ② 「四国遍路日記の世界」  
 日 時：11月3日(日) 13:30~15:00  
 講 師：胡 光氏 (愛媛大学教授、  
 四国遍路・世界の巡礼研究センター長)

- 講演会**
- 「松浦武四郎と四国・徳島」  
 日 時：11月9日(土) 13:30~15:00  
 講 師：岡本佑弥 (当館学芸員)
- 【展示解説】**  
 10月13日(日)・10月20日(日)・11月10日(日) 14:00~15:00  
 講 師：当館学芸員



芸術文化振興基金助成事業

徳島市 徳島城博物館



〒770-0851 徳島市徳島町城内1番地の8(徳島中央公園内)  
 TEL(089)956-2525 FAX(089)956-2466  
<http://www.city.tokushima.tokushima.jp/johaku/>  
 徳島城博物館公式X(旧Twitter)で情報発信中!

●後援 愛媛大学四国遍路・世界の巡礼研究センター  
 ©河鍋晩産「武四郎涅槃図」(複製品展示)、©渡辺小車ほか「寄書縫付傘」、©小野湖山「火用心袋」、©河鍋晩産「洗回扁帖 二」、©「矢立」(以上、松浦武四郎記念館蔵)  
 ©北海道国郡司(西野・多田家文書・徳島県立文書館寄託)、「四国順拝大絵図 全」(個人蔵・愛媛県歴史文化博物館寄託)、「蝦夷奇観(蝦夷島奇観)」  
 ©印は重要文化財を示す



特別展

# 松浦武四郎の遍路

## 北海道人、四国を旅する

松浦武四郎（一八一八～一八八八）は、幕末に「蝦夷地」（現在の北海道）の調査を行い、明治時代には「蝦夷地」に変わる新たな名称「北加伊道」（字は「北海道」となる）を提案したことによって、「北海道の名付け親」として世に名を知られています。その一方で、武四郎は全国を歩き続けたことでも知られており、青年時代には四国遍路を行いつつ、四国も一周しています。武四郎はその記録を「四国遍路道中雑誌」（松浦武四郎記念館蔵、重要文化財）として弘化元年（一八四四）にまとめています。この資料は遍路のみならず、当時の四国の様子を知り得る貴重なものだといえます。



### 「北海道の名付け親」

◎松浦武四郎肖像

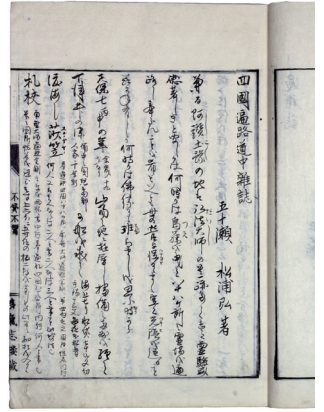
明治15年(1882)頃撮影  
松浦武四郎記念館蔵  
(パネル展示)



### 武四郎が所蔵したアイヌの衣服

◎刺繍文衣

江戸時代～明治時代 松浦武四郎記念館蔵



### 若き武四郎の遍路記録

◎四国遍路道中雑誌

弘化元年(1844)  
松浦武四郎記念館蔵

### 武四郎に取り成しを依頼

◎岡本監輔書状(「遺芬」一)

明治2年(1869)頃  
松浦武四郎記念館蔵



### 進む道を示す

懐中羅針盤

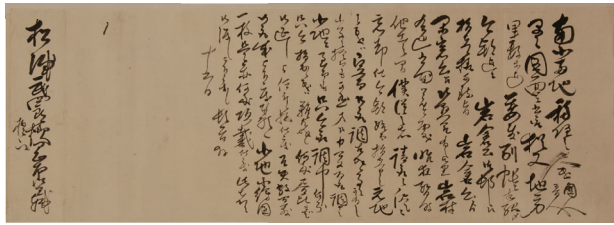
江戸時代後期～明治時代  
松浦武四郎記念館蔵

### このあたりの人はい

たやすく渡るけど…

祖谷葛橋図

大原東野筆 江戸時代後期  
個人蔵(徳島城博物館寄託)



### 桂浜から高知城下の入口まで

浦戸湾風景 江戸時代後期 高知県立高知城歴史博物館蔵



### 約300年前の松山城下へタイムトラベル

松山城下図屏風 景観年代：江戸時代中期 愛媛県歴史文化博物館蔵

